

## 冷たい雨の中積極的な声かけで組織拡大に取り組む

11月18日から20日の3日間、岩手地本は連合岩手と連携で「ハイタク労働者なんでも労働相談」を開設

岩手県内のハイタク労働者の気持ちは、諦めの雑草にむしばまわれている。この休耕状態のハイタク労働者の気持ちに何としても鋏を入れ、雑草を取り除かなければならないと強い思いで組織拡大行動を計画していましたが、3月11日の東日本大震災に見舞われ、組合員・家族の安否確認や支援活動に全力で取り組んできたことで、組織拡大行動ができないでいた岩手地本では、連合岩手との連帯で11月18日から2



0日の3日間、「ハイタク労働者なんでも労働相談」を開設し、有給取得条件や有給保証への疑問などの相談が寄せられ、一人交渉では解決は難しい、組合を結成してともに改善を訴えようとの回答に、組合の必要は認識しているが、経営者からの嫌がらせや継続雇用を打ち切られたら困るとの弱々しい声が帰ってきた。

岩手地本では経営者に言いたくても言えない労働者の現状を踏まえ、地域の仲間に積極的に声掛けして、抱えている多くの課題をともに考え解決して行くことこそが、全自交への組織化に繋がるとして、11月26日から28日の3日間、みぞれまじりの冷たい雨降る中、組合員の協力を得、県内一斉に組織拡大行動を行いました。

地域の労働者から抱えている課題は、①継続雇用条件の中、組織結成の声を上げれば雇用が打ち切られる、②高齢の労働者が多く役員の担い手がない、③運転代行への取り締まり、④運賃改定、⑤減車への訴え等々提起されました。

2011年度の組織拡大行動総括では、「各支部・分会の役員が組織拡大の中心となり、まず一人の拡大をめざす」、「他組織との交流が必要」、などの声が出され、一年間の取り組みの成果と課題を持ち寄り、全体化・共有化することが次のステップにつながる。職場での積極的な拡大行動に取り組むこととしました。

一方では、我々がみぞれまじりの雨の中、全自交を守りたい、拡大したいとの一念で拡大行動を行っても全自交本部の大会をボイコットした東京地連、その東京地連と行動をともにした関東地協に対して何の処分をしないで今後も全自交の運動、拡大行動を実施しろと言われても、大会に参加した各支部・分会の役員・組合員からは協力を得るのは難しい。

元中央執行委員長を始め、東京地連幹部及び大会議長・書記に対しての除名処分、東京地連、関東地協への解散処分などを本部に求め、全自交組織の新たな一歩を踏み出すために全力を尽くすことが確認されました。